



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス
コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 品田 守敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 甲佐 邦彦

TEL 03-3573-3721

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	659	46.1	46		31		40	
2022年3月期第2四半期	451	13.4	130		121		124	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 77百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 124百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.29	
2022年3月期第2四半期	1.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,851	2,612	91.6
2022年3月期	2,940	2,689	91.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,612百万円 2022年3月期 2,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400		105		80		95		0.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	141,593,749 株	2022年3月期	141,593,749 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,142 株	2022年3月期	2,094 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	141,591,614 株	2022年3月期2Q	107,958,962 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る政府による行動制限がかなり解除され、徐々に経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ問題、資源価格の高騰、円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、売上高6億59百万円(前年同四半期46.1%増)、営業損失46百万円(前年同四半期営業損失1億30百万円)となり、受取配当金5百万円と受取賃借料2百万円等を営業外収益に計上したことにより、経常損失31百万円(前年同四半期経常損失1億21百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円(前年同四半期純損失1億24百万円)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(ニッケル事業)

前年同期に比べ販売価額が上昇したことにより、売上高は4億37百万円(前年同四半期3億39百万円 29.0%増)となりました。

(不動産事業部)

賃貸料収入のみとなり、売上高は2百万円(前年同四半期4百万円 46.2%減)となりました。

(教育事業部)

売上は、ありませんでした。(前年同四半期1百万円 100%減)

(リフォーム関連事業)

コロナウイルスの影響も治まってきたため、通常の営業が出来つつあり売上高は2億19百万円(前年同四半期1億6百万円 106.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ3億1百万円減少し23億89百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億13百万円増加し、4億62百万円となりました。これは投資有価証券の購入等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前事業年度末に比べ11百万円減少し、1億56百万円となりました。これは主に買掛金が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1百万円増加し、82百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ77百万円減少し、26億12百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことと、投資有価証券の購入に伴い、その他有価証券の時価が取得原価を下回ったための差額を計上したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等品(以下「資金」という)の四半期末残高は、13億98百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は、1億3百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失37百万円、仕入債務の減少17百万円、棚卸資産の増加46百万円、消費税の還付22百万円、未払法人税等の減少額36百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により減少した資金は、2億18百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入1億36百万円、投資有価証券の取得による支出3億62百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は、ほとんどありませんでした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました通期連結業績予想から修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「2023年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,154	1,413,712
受取手形、売掛金及び契約資産	264,509	265,147
有価証券	7,035	7,855
商品及び製品	627,441	678,903
仕掛品	15,696	10,292
その他	40,731	13,339
貸倒引当金	△105	△147
流動資産合計	2,690,463	2,389,103
固定資産		
有形固定資産	140,354	4,433
投資その他の資産		
投資有価証券	3,024	361,220
その他	176,788	167,982
貸倒引当金	△70,546	△70,792
投資その他の資産合計	109,266	458,410
固定資産合計	249,621	462,844
資産合計	2,940,085	2,851,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,580	73,741
短期借入金	3,000	3,000
未払法人税等	43,065	3,038
賞与引当金	1,961	2,061
工事損失引当金	923	-
その他	28,156	75,123
流動負債合計	168,686	156,964
固定負債		
役員退職慰労引当金	66,040	67,475
退職給付に係る負債	11,854	12,765
資産除去債務	1,622	591
その他	1,972	1,800
固定負債合計	81,489	82,632
負債合計	250,175	239,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,111,932	100,000
資本剰余金	1,433,245	2,597,570
利益剰余金	△855,565	△48,520
自己株式	△93	△94
株主資本合計	2,689,518	2,648,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	△36,605
その他の包括利益累計額合計	390	△36,605
純資産合計	2,689,909	2,612,350
負債純資産合計	2,940,085	2,851,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	451,644	659,890
売上原価	355,052	520,780
売上総利益	96,591	139,109
販売費及び一般管理費	226,751	185,133
営業損失(△)	△130,160	△46,023
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3,468	5,253
有価証券評価益	2,225	820
受取賃貸料	2,997	2,997
物品売却益	-	1,064
固定資産処分益	-	2,345
その他	1,198	1,774
営業外収益合計	9,889	14,255
営業外費用		
支払利息	27	27
その他	1,269	50
営業外費用合計	1,296	77
経常損失(△)	△121,568	△31,845
特別利益		
受取和解金	-	593
特別利益合計	-	593
特別損失		
固定資産除却損	-	6,272
子会社株式評価損	485	-
特別損失合計	485	6,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,054	△37,524
法人税、住民税及び事業税	2,935	3,038
法人税等合計	2,935	3,038
四半期純損失(△)	△124,989	△40,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△124,989	△40,562

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△124,989	△40,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	△36,995
その他の包括利益合計	131	△36,995
四半期包括利益	△124,858	△77,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,858	△77,558
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,054	△37,524
減価償却費	1,091	803
子会社株式評価損	485	-
有価証券評価損益(△は益)	△2,225	△820
受取利息及び受取配当金	△3,469	△5,254
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,789	911
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,435	1,435
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,783	287
売上債権の増減額(△は増加)	△15,444	△638
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,543	△17,838
棚卸資産の増減額(△は増加)	50,407	△46,640
前払費用の増減額(△は増加)	1,830	1,263
未収入金の増減額(△は増加)	△5,989	5,110
預け金の増減額(△は増加)	△493	△1,481
未払金の増減額(△は減少)	△110	△617
未払費用の増減額(△は減少)	△387	△523
預り金の増減額(△は減少)	△403	△34
前受金の増減額(△は減少)	5,910	△700
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,056	33,834
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	12,049	△36,945
その他	4,893	3,943
小計	△77,079	△101,428
利息及び配当金の受取額	2,937	4,194
法人税等の支払額	△5,775	△6,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△79,917	△103,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	-	136,228
有形固定資産の取得による支出	△6,880	△1,111
投資有価証券の取得による支出	-	△362,328
出資金の回収による収入	-	20
出資金の払込による支出	△128	-
敷金及び保証金の回収による収入	108	9,754
その他	△722	△722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,622	△218,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4	△5
新株予約権の行使による株式の発行による収入	458,442	-
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	458,436	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	370,896	△321,442
現金及び現金同等物の期首残高	790,701	1,720,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,161,598	1,398,712

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

2021年4月5日から9月16日までの間に、第6回新株予約権の行使がなされました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が229,951千円、資本準備金が229,951千円増加し、当第2四半期連結会計期末において資本金が1,729,951円、資本準備金が234,981千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

当社は、2022年6月29日開催の第103回定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2022年8月9日に効力が発生しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が2,011,932千円、資本準備金が616,961千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生により、その他資本剰余金の金額の一部847,607千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

2022年3月期においては、営業損失やマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しており、当第2四半期連結累計期間においても、営業損失の状態が続いておりますので、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりますが、この状況を改善するため2022年3月期に、新たな資金調達を完了し、資金計画には不確実性は認められません。

そのため、継続企業の前提に関する注記の必要は無いものと判断しております。